

経営比較分析表（令和5年度決算）

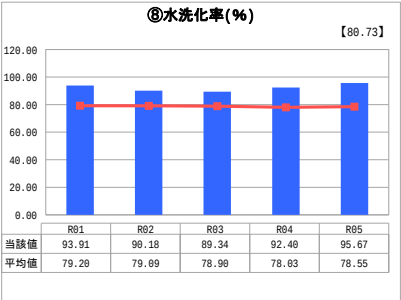
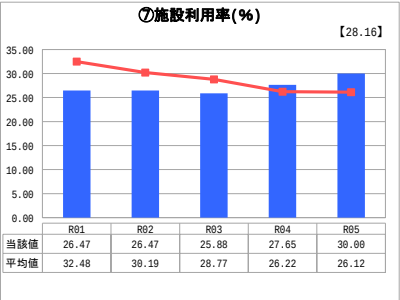
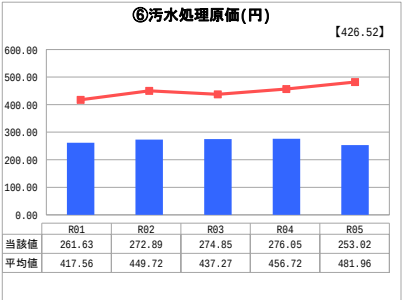
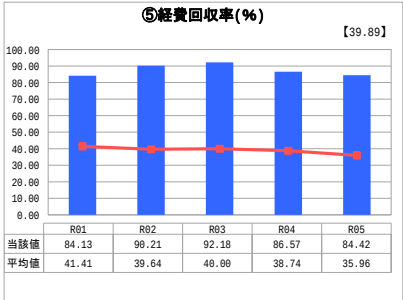
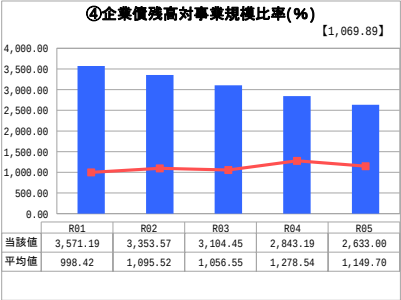
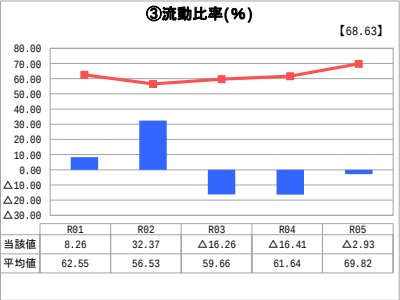
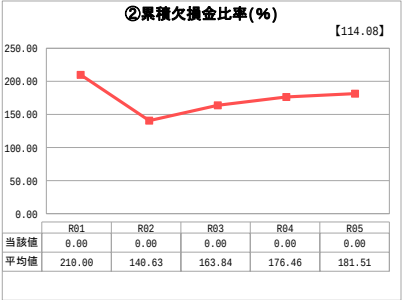
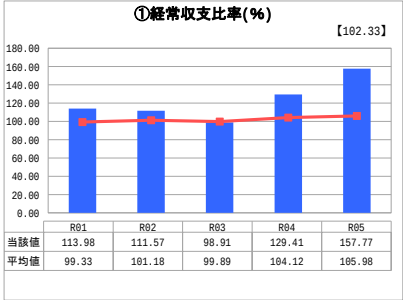
兵庫県 新温泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	80.24	1.96	100.00	4,950

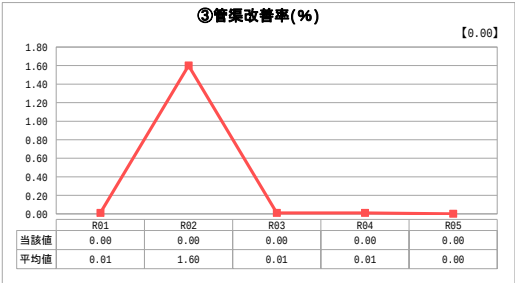
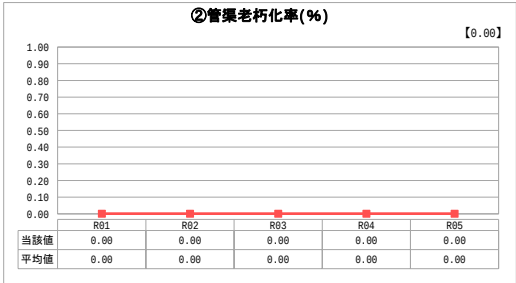
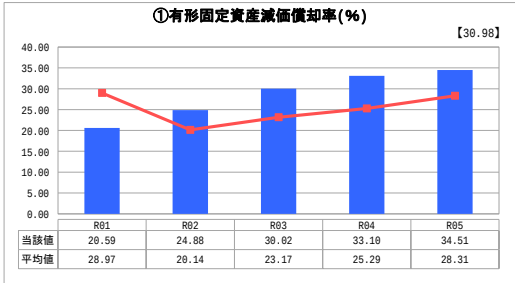
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,094	241.01	54.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
254	0.07	3,628.57

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

①経常収支比率は減価償却費の減により28.36ポイントの増となり、100%を上回る状況となっている。

②累積欠損金は当町では発生していない。③流動比率は、対前年比13.48の増となっているが、マイナスが継続している。④企業価値高対事業規模比率は、企業価値選のピークが過ぎ下降傾向にあるが、類似団体平均値と比べると高い状況で推移している。⑤経費回収率は対前年比2.15ポイントの減で84.42%となった、100%以上に向け経費の抑制など対策が必要である。

⑥汚水処理原価は類似団体平均値より低く、汚水処理費が抑えられている現状にある。

⑦施設利用率は対前年比2.35ポイントの増で類似団体平均値とほぼ同程度となっている。⑧水洗化率は類似団体平均値を上回っている。

経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減に向けた検討を進めていく。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は対前年比1.41ポイント上昇し、法定耐用年数に近づいている固定資産が増加傾向にあることを示している。③管渠の更新・改良は、現在予定がない。

施設供用開始から22年経過しており、経年劣化による修繕等が必要となっている。R2年度に策定した機能保全計画により、計画に沿った施設の整備を進めていく必要がある。

全体総括

R2年度に策定した機能保全計画を経営戦略に盛り込み、投資の合理化を図り、健全で効率的な経営を目指し取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。